

**外国人介護福祉士候補者の
【国試対策情報】**

月報 第9号

第2弾 2014年、国家試験合格のために！！**【事業団の試験結果を信じられますか？】**

- ★ 弊社が月報で、「施設の声」を掲載するようになってからすでに9号となったが、この間に、全国の施設の声の中から「事業団に対する批判の声」がますます増大している。この事態は、今後の外国人看護師・介護福祉士受け入れ制度のあり方に、大きな課題を投げかけている。第一回目の国家試験に臨んだ外国人介護福祉士候補生は、95名いたが合格したのはわずか36名にしか過ぎなかった。この結果を見るだけで、事業団が行っている日本語教育ならびに、国家試験対策の模擬試験などが、いかに無駄であったかを表している。
- ★ 特に、各施設で困惑していることは、事業団から毎月のように多大な教材などが送りつけられていること、半強制的に模擬試験が行われていることにある。さらに、その模擬試験の内容は、実際に実施されている国家試験問題とはかけ離れた外国人用に改ざんされた試験問題を毎月のように行わせて、その試験結果をランキングしているために、受験者が自分の能力を過信したり、諦めたりする事態を起こしている。
しかしながら、事業団が行っている模擬試験は前述したように、国家試験合格者数から判断すると、受験者の能力を測るものとしては全く程遠く、また、そのランキングの意味を成さない内容であることが、既に試験結果によって判明している。
これらの事態に対して、事業団は何ら手をうつことなく放置し、また、事業団の施設巡回者による指導も不適切で、具体的な指導がないために、対応した施設の多くが事業団に対する不信感を持っている。
- ★ 全国の施設は、外国人介護福祉士候補生を受け入れるために、一人あたり三年間で、約1,000万円近くの負担をしている実態がある。そのために、この受入れ制度と事業団の今のやり方に対し、不平不満だけでなく、疑念を抱いている。さらに、事業団が行っている模擬試験は、「本当の実力を表すものでない試験」と言わざるを得ず、早急に受験者の負担を軽減するために、声を一つにして、中止するように事業団に申し入れるべきだろう。あるいは、信憑性のない試験を受けることをボイコットすることも、一つの方法ではないだろうか。
- ★ 多数の施設が、厚労省と事業団に「切実な施設の声」として、この実態を届けるならば、我が国が将来に向けて、外国人を登用するための具体的で、建設的な行動となるだろう。弊社は、この制度が国民の福祉制度で必要不可欠なものであることを認識した上で、受け入れ施設の負担が軽減され、外国人介護福祉士候補生にとっても、国家試験受験能力を養う上で、無駄のない教育が行われることを願いたい。そして、弊社が施設と受験者のための「全国の施設の情報交流の架け橋」となれば良いと願っている。

＜施設の声＞

その 1、 候補生のやる気が全くない。日本語の学習で仕事を休みにさせても、その分働けないのであればお金をだせと言い出す始末。結局は日本で3年間働いて、お金を稼いで仕送りして母国に帰れたら満足という気持ちが強い。休みをしっかりと取らせていても「有給休暇をもらえない、休みがない」と大使館に訴えられ、労働監督局が動くこともある。嘘をつくことも多い。このような現状を、事業団に言っても施設任せで丸投げでどうしようもない。受け入れ説明会に行き、色々な施設から事業団の理事長に厳しいことを言われると理事長が逃げてしまう始末で、本当、どうしようもなく感じる。受け入れにあたり、中古住宅を買って改造したり、準備をしたので、今後の受け入れも受け入れたくなくても、投資した分どうしようかと検討しなければならないし、大変です。
(千葉県・I施設)

その 2、 候補生の学習に対する意欲が低い。仕事は全く問題なく、人間関係も良好。利用者さんからの反応も良い。しかし、試験となるとやる気がなく、事業団の試験は3割程度のでき具合。日本語の試験も案内はしていたのだが、やる気を見せない。このような状態ではあるが、今後も外国人受け入れについては施設としては前向きに考えているが、受け入れ費用が問題。
(和歌山県・G施設)

その 3、 日本に留学経験があり、入職当初から日本語（会話）は問題ない。昨年外部の研修に行き、残り2回で技能免除になる。記録を日誌につけて、毎日、主任が添削指導をしたり、業務上では申し送りも問題なくでき、ケアプランも良いものを作成できている。9月から国家試験対策を中心に、集中的に学習する予定にしている。
(東京都・H施設)

その 4、 専門学校で、国試対策で試験を頻繁受けて、頑張って学習に取り組んでいる。試験のでき具合としては、手放しでは喜べないがまあまあなのではないか。残りの期間内でできるようになれば良いと思っている。国家試験問題の読解については、ある程度読み取れて答えてられている。日本人でも見落としするような点では間違えるが、それをもって、日本語能力がついていないとは思えない状態なので、大丈夫だろうと感じている。
(奈良県・S施設)

その 5、 相変わらず、いや、以前に比べてもっと候補者の学習意欲が落ちている。来年1月に受験を控えているが、日本語や国家試験の勉強は一切していない。受験者が1日最低30分でも日本語の学習をしているといえ、特定活動として認められ、雇用契では3年間は雇用しないと決めたことになっているため、雇用を打ち切ることができない。また、日本語についても、そのつど、厳しい試験があって、その数値をクリアできなければ帰国させるといった制度もないために、受験者は出稼ぎ程度で仕事を3年間できるとかंगाえてしまっていることにも問題があるのではないか。今後は、受入れる意志はありません。
(大阪府・T施設)

その 6、 今年1月の国家試験結果は、うちの2名の受験者は2名ともに合格できなかった。事業団の過去問題を中心とした国家試験対策用の試験を受けていたが、その成績はうちの2名ともに上位の合格ラインに達していたため、信じていたのに結果はダメだった。合格できないことは経験済みなので、事業団の指導は信じていない。今後の対策を現在真剣に考えている。
(三重県・W施設)

今からでも間にあう！ 国家試験対策 5分間テスト

施設名： 受験者名：
FAX： メール：

皆さん、解けますか？「5分間」でやってみてください。
採点して、考察します。「漢字習得」のコツをお教えます。

4. 文中のアンダーラインの漢字を（ ）から選んで、番号を書きなさい。

例) 褥 瘡とは、「とこずれ」と いわれるものです。
(A)

A. (①所 ②常 ③床) 答え ③

①褥瘡はヒフに圧 力 が加わり、血 流 障 害 を起こした状態で、寝たきりの人に
(A)
多くハッセイします。
(B)

(A) [①皮膚 ②被風 ③被布] 答え 2 1

(B) [①八世 ②発声 ③発生] 答え 2 2

②褥瘡の要 因

●アッパク：長時間、体 位 変 換 をしないことによる体重のアッパクや いるいの締め付け。
(A) (A) (B)

(A) [①圧迫 ②圧倒 ③圧縮 ④圧死] 答え 2 3

(B) [①衣類 ②医家 ③以来 ④依頼] 答え 2 4

●身体の不潔・湿 潤：汗・尿・便の ホウチ、おむつの むれなど
(C) (D)

(C) [①法律 ②放置 ③報知 ④法人] 答え 2 5

(D) [①胸 ②群れ ③蒸れ ④無礼] 答え 2 6

●マサツ：シーツや 寝間着の しわや縫の ききすぎなど。
(E) (F)

(E) [①魔法 ②魔力 ③摩擦 ④摩耗 ⑤麻薬] 答え 2 7

(F) [①聞き ②効き ③危機 ④機器 ⑤鬼気] 答え 2 8

●栄養不良：たんぱくシツの フツクなど。
(G) (H)

(G) [①室 ②強 ③質 ④失 ⑤実] 答え 2 9

(H) [①不測 ②付則 ③不能 ④不良 ⑤不足] 答え 3 0

《 学習者が勉強したくなる！ 楽しく・分かりやすい専門教材 》

【基礎書能力レベルⅠ】

- 【教材の特徴】 ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も頻りに読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

日本語の基礎知識を身近な事例で、分かりやすい文で書かれており、特に「だれが」に「どこで」「いつ」「どうする」を使って、「規則性とその用法」が学べ、自然に会話力がつくような内容になっています。

※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,500語



【漢字のーと(1)】

「100万人の日本語No.1」に付いた構成となっており、「文型・文の作り方」を習得しながら、効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。習得漢字の学習者が漢字習得をする上で最適です。また、中国人学習者にも最適です。



【ひらがなのーと】

ひらがな文字の習得に最適な教材です。字がや書き練習用紙ではなく、日本語の基礎となる「質問と答え」の仕方によって必要な表現方法が学べます。身近な事例を使って学習でき、社会生活に必要な語彙も同時に学べられる教材です。



【ひらがなカード】

数語にはひらがな文字が一文字ずつ書かれて、練習にその文字を使った語のイラストが色鮮やかに描かれています。イラストには「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が書かれており、学習者が文字を比較しながら、学習できるメリットがあります。基礎知識の日本語学習に最適な内容になっています。

【基礎書能力レベルⅡ】



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、飲食店など職場における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な語彙を練習しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。さらに、本テキストを終了すると、「自分の思いや考え」を基本的表現で書ける能力が身につくように作られています。各ページで、日本語のあらゆる表現法と用法が学べます。

※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 850語～1,710語



【漢字のーと(2)】

「100万人の日本語No.2」に付いた内容で、漢字習得と文の作成練習だけでなく、文章に対する読解力も、同時に養えるように作られています。漢字の「へん・つくり」の付録もあり、「漢字の成り立ち」に対する理解が、できる内容となっています。日本語の学習者が漢字を習得する上で最適です。また、中国人には、日本の漢字を習得できる特徴があります。

【レベルⅠとレベルⅡの違い】

レベルⅠは、日本語を学ぶ上で重要な「規則性と用法」を学習して、【聞く・話す・読む・書く】を基本とし、日本人と同等の力を養うことができる能力を育てます。レベルⅡは、会話文を中心に「思いや考え」を日本語で表現できる能力を育てます。



【カタカナノート】

カタカナ語を使った場面を教えるイラストが各ページにあります。このノートは、疑問文と肯定文が繰り返されていきます。場面を紹介する文は、作業用の練習文。その練習文を練習しながら、練習問題によって、読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

【生活書能力レベルⅢ】



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

テキストNO1とNO2とは違い、NO3では職場での日本語力が発揮できるように、慣れた登場人物の日常的生活と仕事を通して、「日本語の使い方(運用)」力が養えるように作られています。そして、登場人物を通じて、会社での習慣や礼儀作法なども合わせて理解できることが特徴です。

※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～2,330語

【レベルⅢの特徴】

日本独特な表現、特に「敬語」を習得し、人間関係を考慮した専門領域での日常会話ができる能力を高め、職場での意思伝達ができるようになります。語の種類と文の構造を使い分けながら、要約する能力を養うことで、職場での報告書やレポートが書ける能力が身につけられます。また、日本事情の知識も得られるのが特徴です。

学習段階	教材一覧	価格
レベルⅠ	「ひらがなカード」	¥ 1,050
	「100万人の日本語No.1」	¥ 2,650
	「ひらがなのーと」	¥ 1,800
	「漢字のーと 1」	¥ 1,360
レベルⅡ	「100万人の日本語No.2」	¥ 2,650
	「カタカナノート」	¥ 1,360
	「漢字のーと 2」	¥ 1,360
レベルⅢ	「100万人の日本語No.3」	¥ 3,000
※ 送料は別途		

【国家試験受験能力到達度】チェック申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>

施設名：	ご担当者名：
所在地： 〒	
電話：	FAX：
メールアドレス：	
受験者名：	国名： 受験人数： 名
<単発受験> ※ ご希望の受験形態に□「レ点」を記入願います。下記の料金は受験者1名あたりの金額です。	
□ 各受験段階で1回あたり @9,450 円 × 名	合計金額 円
<継続受験>	
□ 受験段階初回からの場合 @7,350 × 10 回 = 73,500 円 × 名	合計金額 円
□ 受験段階Aからの場合 @7,350 × 9 回 = 66,150 円 × 名	合計金額 円
□ 受験段階Bからの場合 @7,350 × 8 回 = 58,800 円 × 名	合計金額 円
※ この試験は国家試験受験能力を養うために実施しますので、約三年間分の受験料金となります。	

【日本語教育教材】申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>

施設名：	ご担当者名：
所在地： 〒	
電話：	FAX：
メールアドレス：	
※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。	
100万人の日本語No.1（ ） ひらがなか一ど（ ）	漢字の一と1（ ）
100万人の日本語No.2（ ） ひらがなの一と（ ）	漢字の一と2（ ）
100万人の日本語No.3（ ） カタカナノート（ ）	
※ お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。	
ことばの研究社 〒164-0002 中野区上高田 3-2-13 石田ビル 303	
電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632 メール：kotoba_ken@yahoo.co.jp	

このたび、特定非営利活動法人全国日本語教師会は、一定の活動が達成できたために、今後の活動を終止して、会員の日本語教師の独自の活動に委ねることとなりました。

今までの活動は、会員が立ち上げた「ことばの研究社」に事業の継続をお願いして、関係各位には一切の支障が生じないように致しました。

なお、全国日本語教師会と「ことばの研究社」とは、法律的ならびに財政的には、一切の関係がなく、あくまでも、全国日本語教師会の継続事業に対する便宜を好意的に「ことばの研究社」が引き受けてくれるために、それをお願いしたに過ぎません。

今後、関係各位には、継続事業に対するご理解とご支援を、「ことばの研究社」に対して引き続きいただけますよう、お願い申し上げます。

短い時間でしたが、全国日本語教師会の活動にご理解とご支援を賜り、ここに感謝致します。

今後の関係各位のご活動と、ご発展をお祈り申し上げます。

2012年6月20日

特定非営利活動法人 全国日本語教師会